



毎分とどく。 リアルタイムでわかる。



life. to the fullest.8





「FreeStyleリブレ 2 Reader」の特徴

FreeStyleリブレ 2 Readerにおいても糖尿病のある人のライフスタイルに合わせて、各アラートのオン/オフを選択することができます。

選べるアラート機能※

「低グルコース値アラート」 「高グルコース値アラート」 「受信圏外アラート」のオン/オフが 選択できます

1分毎にグルコース値を測定していますが、グルコース値を 表示させるにはセンサーをスキャンする必要があります。



※ アラートを受信するには、アラート機能をオンにして、常に専用Readerが6メートル以内にあることを確認してください。



さらに使いやすく 血糖トレンドを"可視化"する「FreeStyleリブレ2」

患者さんにとって使いやすく、いつでもどこでも、血糖トレンドの"可視化"により行動 変容を促すことで、より良い血糖管理に貢献します。





選べるアラート機能※1,2

「低グルコース値アラート」 「高グルコース値アラート」 「受信圏外アラート」のオン/オフが 選択できます。



「FreeStyleリブレ2」の選択式アラート — 選べるアラート機能※1,2

糖尿病のある人のライフスタイルに合わせて、「低グルコース値アラート」 「高グルコース値アラート」「受信圏外アラート」のオン/オフを選択することができます。



低グルコース値アラート

60~100mg/dLの範囲で 設定が可能です。



高グルコース値アラート

120~400mg/dLの範囲で 設定が可能です。



受信圏外アラート

センサーがアプリと20分間リアルタイム に通信していない場合に通知します。



カスタマイズ設定*が可能

- ◎ タップすることで、アラートのオン/オフを 変更できます※3。
- ◎「低グルコース値アラート」「高グルコース 値アラート」の値をカスタマイズできます。
- アラート音を調整することができます。
- * ヤンサー交換後のアラートの再設定は不要です。

- ※1 アラートを受信するには、アラート機能をオンにして、常にスマートフォンが6メートル以内にあることを確認してください。 ※2 アラート機能を使用するには、Bluetoothを有効にしておく必要があります。
- ※3 デフォルトではオフになっています。



FreeStyleリプレ2

Reader/リブレLink(スマホアプリ)共通

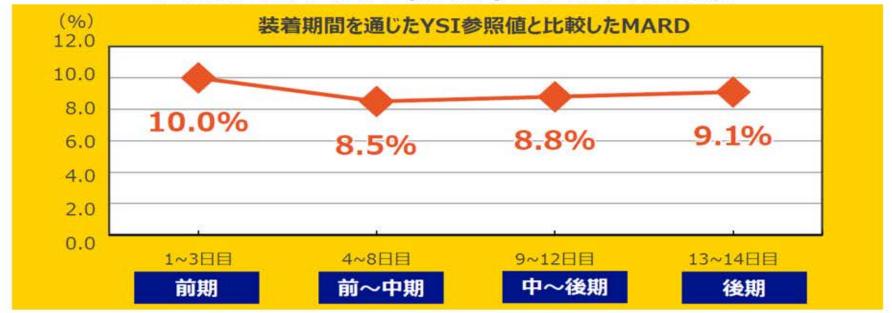
- ①アラート機能を「オン」にする(デフォルトは「オフ」になっている)
- ②Reader/スマホが6m以内にあることを確認する。

リブレLink (スマホアプリ)

- ①スマートフォンのNFCを有効にする。
- ②スマートフォンのBluetoothを有効にする。
- ③リブレLinkアプリをバックグラウンドに残しておく。

アルゴリズムによる精確性の向上

14日間の装着期間においてYSI値と比較して、 平均絶対的相対的差異(MARD)9.2%を達成しました



グルコース	平均絶対的相対的差異	
≤50 mg/dL (2.8 mmol/L)	9.1 mg/dL (0.5 mmol/L) *	
51~80 mg/dL (2.8~4.4 mmol/L)	7.0 mg/dL (0.4 mmol/L) *	
81~180 mg/dL (4.5~10.0 mmol/L)	10.1%	
181~300 mg/dL (10.0~16.7 mmol/L)	7.5%	
301~400 mg/dL (16.7~22.2 mmol/L)	7.1%	
>400 mg/dL (22.2 mmol/L)	10.2%	

※SMBGの精度基準	(ISO15197: 2013)		
Glucose Concentration	ISO 15197: 2015 Stan	dard	
≥ 100 mg/dL (≥5.55 mmol/L)	within ±15%	>95%	
< 100 mg/dL (< 5,55 mmol/L)	within ±15 mg/dL (±0.83 mmol/L)	293%	

- ※異なるグルコース値でのYSI値と比較したセンサーの性能
- ※グルコース濃度が≦80mg/dLの場合は、%ではなくmg/dLで差異を表現

「FreeStyleリブレ2」のデジタルヘルスツール

FreeStyleリブレ2はデジタルヘルスツールで患者さんと医療従事者、ご家族をつなぎ、より良い糖尿病診療に貢献します。



患者さんと医療従事者をつなぐ クラウド型データ管理システム





血糖トレンドを"可視化"する スマートフォンアプリ



離れていても患者さんの 血糖トレンドを確認できる ご家族向けスマートフォンアプリ

リブレLinkUp

リブレView



スマートインスリンペン とのデータ連携*1,2

「FreeStyleリブレLink」アプリのみを使用した場合と専用Reader^{※1}を使用した場合の機能の違い

1分毎のリアルタイムグルコース測定機能は、 「FreeStyleリブレLink」アプリのみを使用する場合に有効です。

		「FreeStyleリブレLink」 アプリのみを使用する場合	「FreeStyleリブレLink」アプリと 専用Reader併用の場合		専用Readerのみを 使用する場合
		1122	アプリ 	専用Reader	1125
1分毎のリアルタイム	グルコース測定機能	0	×	×	×
選べるアラート機能		0	×	0	0
スキャンによる測定		0	0	0	0
「リブレLinkUp」 アプリで確認・ 受信可能項目	1分毎のリアルタイム グルコース測定値	0	×	_	_
	アラート通知*2		^		

^{※1} FreeStyleリブレ2専用Readerは本邦未発売です。(2023年11月時点)※2 アラートの通知はオン・オフの設定が可能です。



FreeStyleリブレ2に関連する保険コード C150-7

区分	C150 血糖自己測定器加算		1型糖尿病	2型糖尿病
1	月20回以上測定する場合	350点	0	0
2	月30回以上測定する場合	465点	0	0
3	月40回以上測定する場合	580点	0	0
4	月60回以上測定する場合	830点	0	0
5	月90回以上測定する場合	1,170点	0	
6	月120回以上測定する場合	1,490点	0	
7	間歇スキャン式持続血糖測定器によるもの	1,250点	0	0

7. 間歇スキャン式持続血糖測定器によるものについて

注

インスリン製剤の自己注射を1日に1回以上行っている入院中の患者以外の患者に対して、血糖自己測定値に基づく指導を行うため、間歇スキャン式持続血 糖測定器を使用した場合に、3月に3回に限り、第1款の所定点数に加算する。

留意事項

- 糖尿病の治療に関し、専門の知識及び5年以上の経験を有する常勤の医師又は当該専門の医師の指導の下で糖尿病の治療を実施する医師が、間歇ス キャン式持続血糖測定器を使用して血糖管理を行った場合に算定する。
- 間歇スキャン式持続血糖測定器以外の血糖自己測定については所定点数に含まれ、別に算定できない。
- 注の場合を除き、間歇スキャン式持続血糖測定器を使用する場合には、間歇スキャン式持続血糖測定器以外の血糖自己測定をした回数を基準に算定 する。



- 第3 関係法令等【省令・告示】(それらに関連する通知・事務連絡を含む。) (2)1 診療報酬の算定方法の一部を改正する件(令和4年厚生労働省告示第54号)別表第一(医科診療報酬点数表)P132-133
- (2) 2診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について(通知)(令和4年3月4日保医発0304第1号)P261-262



FreeStyleリブレ2に関連する保険コード 特定保健医療材料158

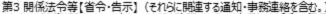
検査

関連技術料

区分	D231-2 皮下連続式グルコース測定 (一連につき)
保険点数	700点
注	1 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関 において行われる場合に限り算定する。 2 注1に規定する届出を行った診療所において行われる場合は、6月に2回に限り算定する。
施設基準	(1)糖尿病の治療に関し、専門の知識及び5年以上の経験を有する常勤の医師が1名以上配置されている こと。 (2)持続皮下インスリン注入療法を行っている保険医療機関であること。

特定保険医療材料

区分	158 皮下グルコース測定用電極
特定保険 医療材料価格	6,390円



第3 関係法令等【省令・告示】(それらに関連する通知・事務連絡を含む。) (2) 1 診療報酬の算定方法の一部を改正する件(告示)(令和4年 厚生労働省告示第54号)別表第一(医科点数表)P.162



^{(4) 2} 特掲診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて(通知) (令和4年3月4日保医発0304第3号) P115

^{(6) 1} 特定保険医療材料及びその材料価格(材料価格基準)の一部を改正する件(令和4年厚生労働省告示第58号) P27

一人でも多くの患者様が 今までと変わらぬ生活を送れるための お手伝いが出来れば幸いです。



ご清聴ありがとうございました。